

兵庫県立はりま姫路総合医療センター

総合内科

指導担当医（役職）

八幡 晋輔（臨床研修センター副センター長 兼 総合内科診療科長）

実習概要

実習コース

4週間コース

概要

総合内科の主治医団の一員として診療に参加します。オーダー（投薬等）は行いませんが、それ以外はほぼ初期研修医と同様に行動します。学生1人あたり入院患者を2～3人担当し、積極的に問診や身体診察を行い、検査や治療に同行してもらいます。担当患者の学生用カルテを記載し、検査や治療計画を立案してもらいます。カンファレンスでは、口頭での症例プレゼンテーションを行います。救急外来では、主治医団と共に初期診療に関わってもらいます。その他、具体的な実習内容の希望を聞き、個別に内容を調整します。

実習スケジュール

- 病棟実習：①入院患者を2～3人担当する。②毎日必ず担当患者を診察し、病状を把握する。③主治医団の回診に同行する。④担当患者の検査や治療、病状説明に同行する。⑤担当患者の学生カルテを記載する。⑥毎日のチームカンファレンスや、週1回の学生・研修医発表カンファレンスで担当患者のプレゼンテーションを行う。
- 救急外来実習：主治医団と共に、診療を行う。
- 一般外来実習：①希望に応じて、日数を決める。②見学や初診外来の問診を行う。
- カンファレンス：①学生・研修医発表カンファレンス（毎週火曜8時00分～）、②外来相談症例カンファレンス（毎週木曜8時00分～）、③入院症例カンファレンス（毎週木曜16時00分～）
- 研修医レクチャー（毎週金曜8時15分～）：研修医と学生対象のレクチャー

6. その他：適宜実習内容の希望を聞きながら、希望に沿った実習となるように配慮します。

学生へのメッセージ

・救急外来からの入院患者さんが多く、未診断の状態から、診断をつけ、治療を行うという診療の一連の流れを多く経験してもらえます。診断学や臨床推論を学びたい方にはもってこいの環境です。

・多様な領域の患者さんが入院されるため、偏りなく、幅広い症例を経験できます。

・様々な専門診療科の先生方と協働して診療を行っています。そのため、他の診療科の先生方ともお話ができる機会が多いです。将来のキャリア選択に迷っている方にもおすすめです。

・病気を診るだけでなく、患者さんの暮らしを支えるためのケアの提供を常に心がけています。総合的に患者さんを診療する魅力を伝えたいと思います。